

2022 年 4月5日	日仏社会学会ニュース	No. 56 日仏社会学会事務局
----------------	------------	---------------------

<記事>

1. 2022 年度日仏会館日仏学術研究助成に採択されました
2. 研究協力者の募集について
3. 研究例会について
4. 2022 年度日仏社会学会大会について
5. 大会「自由報告」の募集について
6. 『日仏社会学会年報』（第 34 号）への投稿論文等の募集について
7. 新入会員のご紹介
8. 会費納入のお願い

1. 2022 年度日仏会館日仏学術研究助成に採択されました

日仏社会学会は、研究課題「コロナ禍と学生生活に関する社会学的研究—日仏比較」（研究代表者 荻野昌弘）により、2022 年度日仏会館日仏学術研究助成に採択されました。日仏会館に提出した研究計画は次のとおりです。

【研究計画】

新型コロナウイルスのグローバルな流行によって、世界は大きく変容している。国・地域によって、感染状況や対策は異なるが、大学生生活に限れば、共通点を多く見出せることが可能である。大学の講義がオンラインになったのは、世界中の大学で見られることであり、大学教育の方法は、大きく変わりつつある。授業だけでなく、課外活動や、アルバイトなどの状況も大きく変わっている。こうした点については、日仏の学生において、共通点を見出すことができるであろう。一方、医学・看護系の学生に関しては、事情が異なる。フランスでは、「学徒動員」という言葉が用いられ、医学・看護系学生が、コロナウイルス治療の現場に駆り出されている。一方、日本では、国立大学医学部において、大量の PCR 検査が可能であるにもかかわらず、それがほとんど利用されていないなど、新型コロナウイルス感染者の治療に積極的に動いているとはいえない。ただ、日本においても、医療・看護系の学生がコロナワクチン接種に関与する状況が生じている。そこで、本研究では、次の 2 点を中心に日本とフランスで調査を行う。

- (1) コロナ禍における学生生活の変容に関する調査
- (2) コロナ禍における医学・看護系学生の状況に関する調査

調査に関しては、CNRS の Institut interdisciplinaire d'anthropologie du contemporain および INALCO などの研究教育機関の協力を得ることができる。今後の感染状況にもよるが、大学院生、若手研究者の日

仏学術交流を促進するため、調査には、若手研究者に積極的に参加してもらう予定である。

2. 研究協力者の募集について

1. でお知らせしましたように、2022年度日仏会館日仏学術研究助成に採択されました。つきましては、研究協力者を募集いたします。研究計画（1. を参照のこと）、調査概要、応募条件を参照のうえ、応募書式に必要事項を記入し（各自ワードで作成してください）、日仏社会学会事務局 nichifutsusocio アット gmail.com（アットを@に変換してください）にお送りください。

（1）調査概要

① 調査地

フランス

②調査時期

6月—9月のあいだで1週間程度。調査員の都合を勘案して決定。なお、感染状況によって変更の可能性がある。

③調査内容

コロナ禍における医療・看護系の学生生活に関する聞き取り調査をフランスの関連施設や高等教育機関などにおいて行う。

④調査以外の任務

研究課題に関わる研究会に参加し、2022年度大会（11月19日（土）於奈良女子大学）にて、簡単な調査報告を行う。

⑤調査費用に関して

渡航費、フランス滞在時の宿泊費の補助。

（2）応募条件

① 当該調査に関心がある会員

なお、若手研究者（大学院生、専任職にない研究者）を優先する。

② 募集人数

2、3名程度

③フランス語能力

不問

（3）応募書式

氏名（所属・職位）	
連絡先 email	
専門領域	
応募動機（1000文字程度）	

（3）応募締切り

2022年5月10日（火）

3. 研究例会について

日仏社会学会研究例会を開催します。遠隔で開催しますので、日仏社会学会事務局まで、事前申し込みをお願いいたします (nichifutsusocio アット gmail.com (アットを@に変換してください))。ZOOM の ID 等をお知らせいたします。奮ってご参加ください。

日時：2022年7月30日(土) 15:00-16:30

テーマ「デュルケーム世俗道徳論の中のユダヤ教」

報告者：平田文子(埼玉工業大学)

司会：江頭大蔵(広島大学)

4. 2022年度日仏社会学会大会について

2022年度の日仏社会学会大会は、11月19日(土)、奈良女子大学関係各位のご協力により開催する運びとなりました。シンポジウムのテーマは「Covid-19の世界的感染拡大下における日仏の医療・看護系学生の現状と課題—両国の比較調査に基づいて—」を予定しております。大会のスケジュールおよびシンポジウムの具体的な内容、報告タイトル等については10月発送予定のプログラムでお知らせいたします。奮ってのご参加をよろしく願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、オンライン開催となる可能性もあります。オンライン開催に決定した際にはホームページ等でお知らせいたします。

5. 大会「自由報告」の募集について

本年度も、下記要領によって、2022年度日仏社会学会大会の「自由報告」を募集いたしますので、多数ご応募ください。

- 1) 内 容 (1) フランス社会学に関するもの
(2) フランス社会(社会思想史を含む)に関するもの
(3) 日仏社会に関する広義の比較研究
- 2) 報告時間 20分(プラス5分間の質疑応答)
- 3) 申込方法 e-mailで、報告テーマ、氏名、所属を事務局までお知らせください。
e-mail: nichifutsusocio アット gmail.com
- 4) 応募締切り 2022年7月28日(木)

6. 『日仏社会学会年報』(第34号)への投稿論文等の募集について

2022年度発行予定の『日仏社会学会年報』(第34号)への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。また、会員業績を年報に掲載いたしますので、2022年4月1日から2023年3月31日までの会員業績を、2023年3月31日までに下記のメールアドレスにご送付の程よろしく願いいたします。さらに、

フランスに関連する会員の著書の書評の依頼も随時受け付けています。

1) 原稿締切り：2023年3月31日

2) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木1-1-1 岡山県立大学保健福祉学部

近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）

電話：0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp

3) 投稿規定

1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会に関する広義の比較研究のうち未発表のものに限る

2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。

3) 論文は 400 字詰め原稿用紙換算 50 枚程度。

（図表等を含め約 20,000 字。フランス語または英語の場合は約 5,000 語）

4) 研究ノートは 400 字詰め原稿用紙換算 30 枚以内。

（図表等を含め約 12,000 字。フランス語または英語の場合は約 3,000 語）

5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400 字詰め原稿用紙換算 20 枚以内。

（約 8,000 字。フランス語または英語の場合は約 2,000 語）

6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300 語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200 語以内の仏文または英文の要約を添付する。

7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿 3 部に CD-R を添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名（英文付記）と所属、著者の連絡先（住所、電話、ファックス、Eメールアドレス）を書いた用紙 1 枚も送付のこと。

8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。

9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。

- 本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
- 著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
- 論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。

10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。

11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

12) 本誌に掲載された論文等は原則として電子化し、公開するものとする。

7. 新入会員のご紹介

平田文子（埼玉工業大学）

8. 会費納入のお願い

2022 年度もお早めに会費を納入くださいますようお願いいたします。2019、2020、2021 年度会費未納の方は、これも併せて納入ください。2022 年度の会費を納入されていない場合、年報 33 号が発送されません。納入が確認できしだい、発送させていただきます。会費は 5,000 円（院生会員は 3,000 円）です。院生会員の方は、同封の振替用紙の通信欄に、所属大学院を記載してください。

日仏社会学会事務局

〒662-0891 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学社会学部内

TEL/FAX 0798-54-6953

nichifutsusocio アット gmail.com

郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会
